

ラムサール COP10 決意文 X-31 履行と水田の生物多様性増進のための  
日韓自治体ネットワーク構築のシンポジウムへの参加について

4 月 27 日から 5 月 1 日にかけて韓国慶尚南道昌寧郡（ケイショウナンドウチ  
ャンニョングン）において慶尚南道ラムサール環境財団主催の「日韓自治体ネ  
ットワーク構築」のシンポジウムへ参加しました。

2008 年韓国で行われた第 10 回ラムサール条約締約国会議で決議された決議文  
X - 31 の推進や湿地生態系としての水田の保全、コウノトリやトキなどの野生復  
帰への相互協力、生物多様性型の農業からの地域活性化などを推進するため、  
日韓の地方公共団体と民間のネットワーク構築を目指したものです。

韓国からは 固城郡（コソン）、昌寧郡（チャンニョン）、昌原市（チャンウ  
ォン）、日本からは豊岡市、宮城県大崎市、新潟県佐渡市が参加し、豊岡市から  
は、農家等も参加しております。

固城郡の生命環境農業に関する研究所や現地の視察、ウボ沼などの湿地やト  
キの飼育施設の視察、また、約 60 人が参加したシンポジウムでの各地域から  
の報告や意見交換を通し、「生命を育む農業の推進と湿地生態系の再生のための  
日韓共同宣言」を行いました。（別添資料を参照）

なお、7 月に佐渡市で開催される第 2 回生物の多様性を育む農業国際会議  
（ICEBA2012）でのネットワーク会議の開催に向けて協議を進めているところデ  
ス。

また、4 月 30 日には、2013 年度に韓国でのコウノトリの放鳥が予定されてい  
る忠清南道礼山郡（チュウセイナンドウ イエサングン）と韓国教員大学のコ  
ウノトリ復元センター（忠清北道清州市チュウセイホクドウチョンジュシ）を  
訪問しました。

礼山郡では、野生復帰の中核施設の建設が予定されている村へも訪問し、地  
域住民の方々と懇談を行いました。

- |       |  |
|-------|--|
| 1．期 間 | 2012 年 4 月 27 日～5 月 1 日<br>シンポジウムは、4 月 29 日に開催 |
| 2．場 所 | 慶尚南道 昌原市、昌寧郡、固城郡、忠清北道 清州市、<br>忠清南道 礼山郡         |
| 3．主 催 | 慶尚南道ラムサール環境財団                                  |
| 4．日 程 | 秘書広報作成   |

今後の海外との交流（予定）

6月下旬 韓国 コウノトリ復元センター

所長、韓国教員大学学生（3名）

7月19～20日 韓国 京畿道高陽市（キョンギドウコヤンシ）

中・高校生 20名 保護者20名 計40名

子ども達に環境教育を行っている民間団体

7月19～20日 中国 JICA トキプロジェクト

政府関係者、研究者 約10名

7月 台湾 台湾大学

教授、台湾大学学生（6名）

11月 中国 無錫 イートンハウスインターナショナルスクール

約20名

秋 韓国 礼山郡